

●前回との比較			
調査名	時期	対象	回収数(回収率)
草津市子ども・子育て支援に関するニーズ調査	H25.11	就学前の子どもの保護者	978/2,000(48.9%)

分野	項目	前回調査	新規	国調査必須項目	分析の視点
対象者と家族の属性	問1 子どもと家族等の様子や住所地の小学校区等	問1			・対象者と家族の属性を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(1) 対象となる子どもの生年月	問1(1)		●	・対象者の年齢を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(2) 子どもの人数と末子の生年月日	問1(2)			・対象者を含む家族内の子どもの人数の傾向を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(3) 対象者からみた回答者の関係	問1(3)		●	・回答者の属性を確認する。
	問1(4) 同居の家族	問1(4)			・家族構成の傾向を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(5) 回答者の配偶者の有無	-	●	●	・配偶者の有無やひとり親家庭の割合を把握し、クロス集計で活用する。 ※前回調査時は問1(4)で把握していた。
	問1(6) 対象者の子育てを主にしている人	問1(5)		●	・子育ての担い手の傾向を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(7) 回答者の草津市での居住年数	問1(6)			・居住年数の傾向を把握し、クロス集計で活用する。
	問1(8) 日頃子どもを預かってもらえる人	問1(7)			・身近な子育て支援者の状況を把握し、クロス集計で活用する。
問1(9) 居住する小学校区	問1(8)			●	・居住地域を確認し、クロス集計で活用して地域ごとの傾向を把握する。
保護者の就労状況	問2 保護者の現在の就労状況、今後の就労希望	問2(1)、問3		●	・保護者の就労状況および今後の就労希望を把握し、クロス集計で活用する。 ・事業量の見込みに活用する。
	問2-1 保護者の就労時間・日数・勤務先の所在地	問2(2)(3)		●①②	③④は独自設問。保護者の出勤時間等について把握し、延長保育・預かり保育等の利用時間の検討材料とする。
	問2-2 1年後以降に就労無しから就労有りへの転換希望	問4		●	・1年後に就労していない保護者の就労希望の傾向を把握し、事業量の見込みに活用する。
	問3 産休・育児休業の取得状況	問5	●		※前回の問5を国の任意項目を参考に改編 ・女性の就業率80%の達成が「子育て安心プラン」の目標として掲げられる中、草津市の「母親」の育休取得状況について把握する。 ・男性の育児休業の取得状況について把握する。
	問3-1 育休取得後の職場復帰時期の「実際」と「希望」など	問3-1	●	●第2期追加	※第2期計画では、「考慮すべき事項」として追加が推奨されている。 育休取得年齢の①実際 ②希望の差を把握し、今後の教育保育の確保策と育児促進の施策検討に活用する。また、第2期では、「1歳超の育休取得意向」についても考慮すべきとなっており、③3歳まで取得できた場合の期間の希望もどうかを把握する。 例)結果、「実際」が「希望」より低年齢の人が多い場合＝本来は家庭で子どもをみたいが、希望の時期にサービス利用が不安であったり、育休との関係で低年齢での入所ニーズが高まっていると考えられる。(逆の場合は、やはり低年齢のニーズが高いということなので、低年齢の教育・保育確保策を検討する必要がある。)
	問3-2 満1歳までの育休の意向	-	●	●第2期追加	0歳児保育の量の見込みについて考慮すべき事項として、第2期で「考慮すべき事項」として追加された項目
問3-3 就労継続のために必要な環境	問5-1			・育児休業からそのまま離職してしまう層に対する支援策の検討に活用する。 (サービスの充実、職場への働きかけ、家族への理解促進など、いずれの施策がより必要か、など)	
仕事と子育ての両立支援	問4 仕事と子育てを両立する上で必要な環境・支援	問23			・仕事と子育ての両立支援について、施策の検討に活用する。
平日の定期的な保育・教育事業の利用	問5 幼稚園・保育所(園)等の定期的な利用の有無	問6		●	・幼稚園・保育所(園)等の事業を実際に定期的に利用している家庭の割合を把握する。
	問5-1 定期的に利用している事業種類	問6-1		●	・定期的に利用している幼稚園・保育所(園)等の事業の種類ごとの割合を把握する。
	問5-2 定期的に利用している事業の利用頻度	問6-2	●	(●)	※国必須設問と独自設問の組み合わせ。国の調査票は、問5-1のどの設問について、利用状況を答えているかが分からないため、草津市では、「1番多く利用している事業」と「2番目に多く利用している事業」を指定して記載する形としている。
	問5-3 平日に定期利用している理由	問6-3	●		※委員長意見により追加 園や事業の選択基準について把握する。
	問5-4 定期的に利用していない理由	問6-4			・未利用者の意識について把握し、潜在的な利用ニーズ(本当は利用したい、利用すべき状況にあるが、利用に結びついていない層)の分析に活用する。
	問6 利用する教育・保育を選択する際に重視する条件	問8			・教育・保育事業選択の優先順位、基準を把握する。
	問7 定期的に利用を希望する事業の種類	問7		●	・現状に関わらず、定期的利用としてニーズのある幼稚園、保育所(園)などの事業の種類を把握する。
	問7-1 希望する教育・保育事業の立地	問7-1			・希望する教育・保育事業の立地(市内、市外)を把握し、事業量の見込みに活用する。
	問7-2 幼稚園の利用に対する希望	-	●	●第2期追加	・預かり保育を含む幼稚園の利用に対する希望を把握する。 ※大変わかりにくい表記ですが、国指定の形のため、あまり変更の余地がありません。
土日・長期休暇での定期的な保育・教育事業の利用	問8 土・日・祝日の利用意向、希望する頻度と時間帯	問10		●	・土日、休日の定期的な幼稚園、保育所(園)等の利用実態と希望する頻度と時間を把握し、事業量算出に活用する。
	問9 長期休暇中の利用意向、希望する頻度と時間帯	問11		●	・長期休暇中の定期的な幼稚園の利用希望の傾向を把握し、事業量算出に活用する。
一時預かり等の利用	問10 一時預かりサービスの利用状況	問13		●	・実際の一時預かりサービスの利用状況を把握し、事業量算出に活用する。
	問11 一時預かりサービスの利用意向	問14		●	・一時預かりサービスの利用意向を把握し、事業量算出に活用する。
	問12 泊りがけで預ける必要があった経験	問15		●	・実際に泊りがけで子どもを預ける必要があった状況を把握し、事業量算出に活用する。
病気の際の対応	問13 病気やケガで幼稚園等を休んだ経験	問12		●	・子どもの過去1年以内の病気やケガによる休みを把握し、事業量算出に活用する。
	問13-1 病気やケガで幼稚園等を休んだ際の対応と日数	問12-1		●	・子どもが病気やケガで休んだ際にどのように看護したか現状を把握し、事業量算出に活用する。
	問13-2 仕事を休まずに対処できる場合の対処方法の希望	問12-2			病児病後児保育の利用ニーズについて把握する。 ※H25調査から聞き方を変えている理由は、「病児病後児保育を利用したいか否か」の2択で聞いてしまうと、「利用したい」というニーズが過大に出てしまうことから、多様な選択肢の中で検討していただくことで、ニーズを深く問う形としたかったため。
	問13-3 病児・病後児の保育サービスを利用しない理由	問12-3			・病児・病後児保育やその他のサービスに関する意識を把握する。
地域子育て支援事業	問14 地域子育て支援事業の利用状況	問16		●	・地域子育て支援事業の実際の利用状況について把握する。 ・国必須設問。会議意見を受け、聞き方を、国の示す調査項目から改変
	問14-1 地域子育て支援事業の利用意向と希望の利用頻度	問17		●	・地域子育て支援事業でのサービスに関するニーズを把握する。 ※問14の選択肢の「どのサービスの利用意向か・頻度か」までは問わない。 (理由)問14の回答の選択状況で、回答方法が複雑になるため。量の見込みの際は、回答から按分して算出する。
	問14-2 地域子育て支援事業で希望するサービス内容	問18			・地域子育て支援拠点事業に求める機能について把握し、今後の充実すべきサービスの検討に活用する
	問14-3 地域子育て支援事業を利用していない理由	問19			・地域子育て支援事業を利用していない理由を把握し、今後の利用促進施策検討に活用する。
就学後の放課後の過ごし方	問15 対象者が就学後の放課後の過ごし方に関する意向	問20、問21		●	・就学後の放課後の過ごし方についてニーズを把握し、事業量の見込みに活用する。
	問15-1 予定している児童育成クラブの利用希望日	問20-1 問21-1			・就学後の児童育成クラブについて、平日の利用希望と、長期休暇の利用ニーズを把握する。
子育て全般	問16 近所付き合いの程度		●		・近所付き合いの程度について把握し、クロス集計に活用することで、孤立の状況、子育ての意識や負担感との関連等を分析する。
	問17 同年代の子どもを持つ親との交流	問27			・子育てをする親同士の交流について傾向を把握し、孤立の状況等について把握する。
	問18 子育ての仲間づくりへの参加意向	問28			・子育ての仲間づくりへの参加意識を把握する。
	問19 子育ての経験を生かしたボランティアへの参加意向	問29			・子育ての経験を生かして、「担い手としての」ボランティア活動への参加意識を把握する。
	問20 子育て(教育)に関する相談相手・場所	問30			・子育て(教育)についての相談環境を把握する。
	問21 子育てへの感じ方(楽しさ・不安・負担感)	問25			・子育てへの感じ方(楽しさ・不安・負担感)の傾向を把握し、前回調査と比較する。
	問22 子育てに関する悩み	問26			・子育てに関する悩みを具体的に把握し、前回調査との比較も合わせて、市の施策の方向性を検討する。
	問23 草津市は子育てしやすい市かどうか	問33			・「子育てしやすい」に関する市民感覚を測り、前回調査と比較して変化の傾向をつかむ。
	問24 草津市の「子ども医療費助成制度」への満足度	-	●		・市の子ども医療費助成制度に対する市民の満足度を把握する。
	問25 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用意向	問32			・既存の子育て支援に関する市民の認知度、ニーズを事業ごとに把握し、市の施策を検討する。
問26 草津市の子育てに関する取り組みへの評価	問34			・草津市の子育て支援に対する市民の評価を項目ごとに把握し、市の施策を検討する。	
問27 子育て支援に関するご意見・ご要望(自由記述)	問35			・子育て支援に関する自由な意見を聞く。	

H25調査から削除した項目⇒問22、問24、問27-1、問31